

市政ホット ニュース

hot news!

hot news

「国連軍縮札幌会議」の来夏開催が決定

●平成18年「日本消化器関連学会週間」の誘致も成功

「来客二千万人」を目指して、近年、市ではコンベンションの誘致に力を注いでいます。その成果として、このほど「国連軍縮会議」と「日本消化器関連学会週間」の開催が決定しました。

毎年、日本で開催されている「国連軍縮会議」は、国際平和や安全保障など、国際社会が直面する課題について議論を深め、世界規模で軍備の縮小に結び付けていこうとするもの。札幌での開催は平成九年に次ぐ二回目となり、来年七月下旬の四日間、アジアを中心とする世界約二十カ国から政府高官や専門家ら約五十人が参加します。

期間中は、会議の参加者による講演やセミナーなど、市民との交流の場も設けられる予定です。世界的な注目が集まるこの札幌会議は、激動する世界情勢への意識を高めるだけでなく、平成四年に「平和都市」を宣言している本市の姿勢を世界にアピールできる絶好の機会となります。

一方、「日本消化器関連学会週間」は、消化器官を専門とする国内五つの学会が一堂に会して研究成果の発表・討論を行うもの。三年後となる平成十八年十月の四日間、医師や医療関係者ら約一万五千人が参加します。

この学会は、これまで市内で開催されたコンベンションの中では最大規模となり、試

算では約四十五億円の経済効果が見込まれています。

こうした国際会議や大規模な学会を数多く開催することで、札幌の街を国内外に印象付けるとともに、飲食や宿泊、交通といった幅広い分野への波及効果が期待されます。

市では、今後も引き続きコンベンションの誘致を積極的に進め、多くの人が集い活気あふれるまちづくりを実現していきます。

【詳細】国連軍縮会議については交流課☎(21)2032、日本消化器関連学会については東京事務所☎03(3216)5090

hot news

手稲山ロープウェイを無償譲渡

●手稲山で二つのスキー場を運営する加森観光へ

利用者の減少と設備の老朽化のため、三月で運行を廃止した手稲山ロープウェイ。検討の結果、一連の施設を加森観光株式会社へ無償で譲渡することになりました。

譲り渡すのは、ロープウェイをはじめ、スキー場の一部施設など、昭和四十七年の札幌冬季オリンピック開催を契機に建てられた八つの施設。これらを解体するには、約四

億七千万円もの費用が掛かるため、四季を通じてより多くの市民や観光客が集う場所として手稲山を活性化していくには、山全体で事業展開する加森観光に有効活用してもらうのが効果的と判断しました。

現在、今冬からの利用再開を目指して必要な手続き、整備が進められています。

【詳細】公園管理課☎(21)2536